



元気で安全・安心な
兵庫のまちづくり

業務案内

2014



公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター
Hyogo Construction Technology Center for Regional Development

ごあいさつ



公益財団法人
兵庫県まちづくり技術センター

理事長 濱田 士郎

兵庫県まちづくり技術センターは、「元気で安全・安心な兵庫」の実現を支援するため、高度な技術力を有する公益財団法人として「設計・積算・工事監理」「下水道施設の維持管理・建設支援」「土地区画整理・景観づくり支援」「埋蔵文化財調査」の四つの分野の事業展開と、これらを支える「技術の拠点・技術者育成」を加えた五つを柱とし、「効率的な社会基盤の整備・管理」と「開発と文化財保存の調和」に取り組んでいます。

兵庫県では、今後の社会基盤整備について、「備える」「支える」「つなぐ」の3つの視点のもと、「津波防災インフラ整備5箇年計画（H26～H30）」や「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画（H26～H35）」等の分野別計画を体系的に位置づけた「ひょうごの社会基盤整備基本計画」を策定するとともに、それらを踏まえて見直された「社会基盤整備プログラム（H26～H35）」に基づき計画的・効率的に整備を進めることとされています。

このような中、当センターでは、防災対策・災害復旧、良質な社会基盤の整備や修繕・更新への支援に積極的に取り組むとともに、本年1月にセンター内に「ワンストップ相談窓口」を設け、市町の橋梁・トンネル・下水道施設等の点検・評価から修繕・更新まで一貫した老朽化対策への支援体制を強化しています。

今後ますます多様化する行政需要に的確かつ果敢に対応するため、今まで培ってきた知識・技術力に更なる磨きをかけながら、役員、職員が一丸となって、一層信頼されるセンターを目指し総合的行政支援機関としての役割を果たしてまいりますので、引き続き、皆様のご指導を賜りますとともに、積極的なご活用をいただきますようお願い申し上げます。

平成26年4月

設立目的

兵庫県及び県内の市町の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図るとともに、土地区画整理事業、まちづくり活動等の支援、流域下水道事業及び流域下水汚泥処理事業に係る維持管理等を行うことにより、より質の高い社会基盤づくり及びまちづくり並びに生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全に寄与することを目的とする。

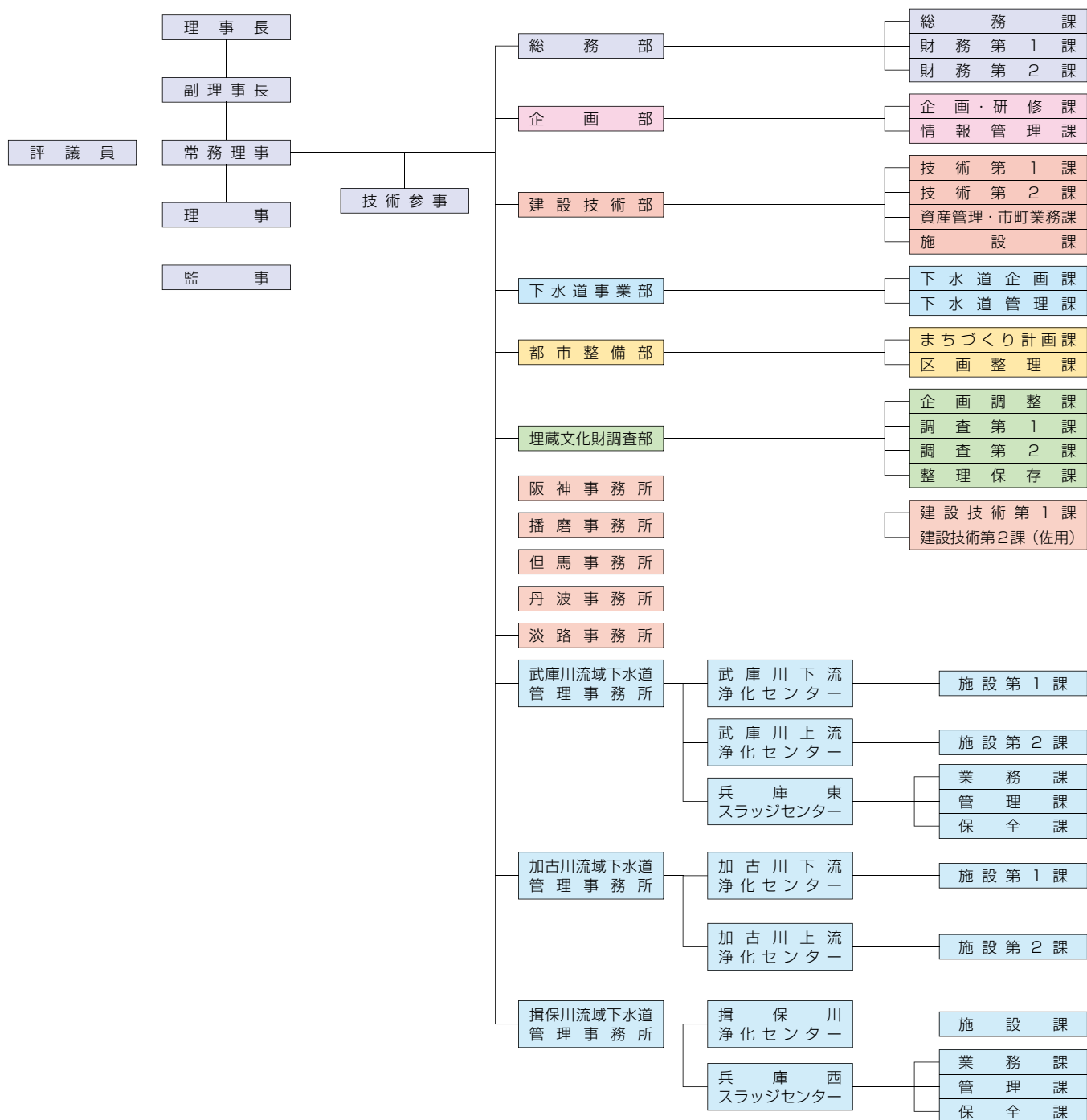
- 基本財産 5億5700万円
- 設立年月日 平成8年4月1日
- 出捐者 兵庫県及び県内29市12町(県内全市町)

事業体系

高度な技術力を有する公益財団法人として兵庫の社会基盤整備を総合的に支援します
～ 効率的な社会基盤の整備・管理、開発と文化財保存の調和を実現 ～



組織図



評議員名簿

(平成26年4月1日現在)

神戸市副市長	鳥居 聡
尼崎市副市長	岩田 強
加古川市副市長	中田 喜高
赤穂市副市長	明石 元秀
豊岡市副市長	齋藤 哲也
丹波市副市長	鬼頭 哲也
洲本市副市長	濱田 育孝
兵庫県県土整備部県土企画局長	山田 聖一
兵庫県県土整備部土木局長	糟谷 昌俊
一般社団法人兵庫県建設業協会専務理事	石田 恭一
兵庫県下水道協会事務局長	藤野 明
流通科学大学総合政策学部総合政策学科教授	森津 秀夫
法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科教授	道奥 康治

役員名簿

(平成26年4月1日現在)

理 事 長	濱田 士郎
副理事長	藤井 隆
常務理事	森口 昌仁
//	大瓦 巖
//	松谷 清生
理 事（姫路市副市長）	寺前 實
//（たつの市副市長）	小西 千之
//（多可町副町長）	笹倉 康司
//（神戸大学大学院工学研究科教授）	森川 英典
//（流通科学大学総合政策学部総合政策学科教授）	酒井 彰
監 事（播磨町副町長）	山下 清和
//	兼崎 健一

役職員数

区分	固有職員	兵庫県職員	市職員	土地開発公社	技術専門員等	事務嘱託等	計(人)
役員	3	3	0	0	0	0	6
総務部	3	12	0	0	0	5	20
企画部	5	5	0	0	3	2	15
建設技術部	17	7	0	0	10	4	38
下水道事業部	7	3	1	0	2	2	15
都市整備部	11	0	0	0	1	3	15
埋蔵文化財調査部	0	20	0	0	1	33	54
事務所	6	11	1	3	26	7	54
管理事務所	24	7	9	0	6	9	55
計(人)	76	68	11	3	49	65	272

技術顧問

(50音順)

氏名	職名	専門分野
足立 紀尚	(一財)地域地盤環境研究所 代表理事(京都大学名誉教授)	トンネル工学、岩盤工学
加賀有津子	大阪大学大学院教授	地域・都市再生デザイン
小林 潔司	京都大学大学院教授	計画マネジメント
酒井 彰	流通科学大学教授	下水道工学、環境工学
福島 徹	兵庫県立大学教授	都市工学、地域システム分析
福田 知弘	大阪大学大学院准教授	環境デザイン、情報通信技術
村橋 正武	立命館大学総合科学技術 研究機構上席研究員	都市計画、地域計画
森川 英典	神戸大学大学院教授	アセットマネジメント、 コンクリート工学

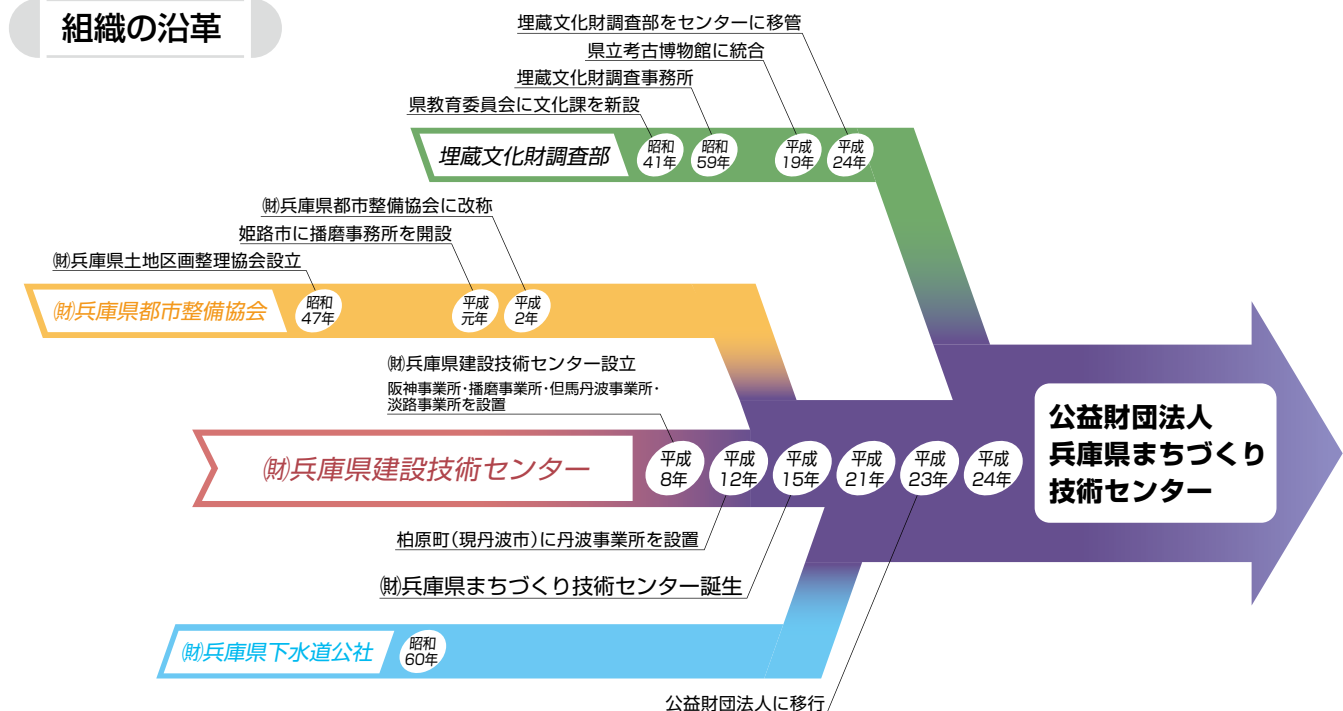
職員の技術資格一覧

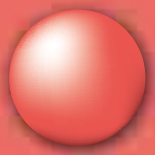
(平成26年4月1日現在)

資格種別	人数
上級土木技術者(土木学会)	1
技術士(総合技術監理部門)	6
技術士(建設部門)	8
技術士(上下水道部門)	2
技術士補	21
1級土木施工管理技士	44
2級土木施工管理技士	8
土地地区画整理士	22
公共工事品質確保技術者I	4
1級建築士	6
2級建築士	1
コンクリート診断士	2
コンクリート主任技士	1
コンクリート技士	10
1級造園施工管理技士	4
2級造園施工管理技士	3
測量士	18
測量士補	22
学芸員	17

資格種別	人数
下水道技術検定(1種)	1
下水道技術検定(2種)	6
下水道技術検定(3種)	20
下水道管理技術認定	1
1級管工事施工管理技士	2
CAD利用技術者2級	2
VEリーダー	1
安全衛生推進者	12
防火管理者	28
危険物取扱者乙種4類	36
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	33
電気主任技術者(2種)	3
電気主任技術者(3種)	16
エネルギー管理員	22
エネルギー管理士	5
特別管理産業廃棄物管理責任者	29
特定毒物研究者	5
特定高圧ガス取扱主任者	13
放射線取扱主任者(ECD)	7

組織の沿革





1 大規模、特殊工事等の設計・積算・工事監理

(1) 県事業への支援

県が実施する公共土木工事、設備工事の設計・積算・工事監理業務を受託することにより発注者支援を行います。

①設計支援業務

最新の技術情報と豊富な経験により、コンサルタント等の指導を行います。

②積算業務

公平公正、守秘性を確保します。また、会計検査時には技術的サポートを行います。

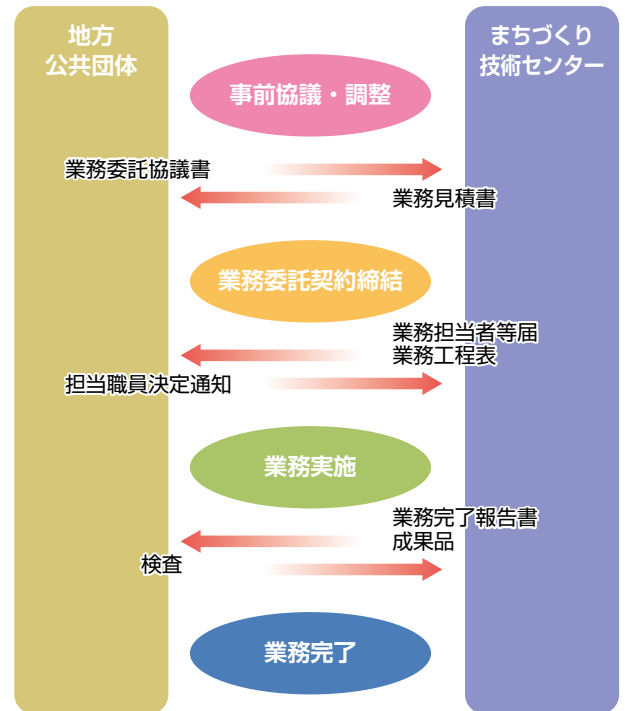
③工事監理業務

技術管理規程や監督要領等を遵守し、的確に請負業者を監督します。工事検査についても対応します。また、②積算業務と同様に会計検査時には技術的サポートを行います。

④総合評価技術支援業務

評価項目に対する助言、技術提案審査に関する業務等を支援します。

設計・積算・工事監理業務の流れ



(2) 市町事業への支援

県事業と同様に、市町の実施する公共土木工事の設計、積算、工事監理業務等を受託するほか、事業の計画から完了、工事検査まで事業全般にわたり支援します。これらの業務により、構造物の品質確保、コスト縮減を図るとともに、市町行政事務の効率化にも寄与します。

①設計・積算・工事監理支援業務

最新の技術情報と豊富な経験により、公共工事の計画、設計の支援を行います。併せて、仕様書、設計書等の契約に必要な書類についての助言を行います。

公平公正の確保と関係法令を遵守し、兵庫県土木工事標準積算基準書に準拠した積算を行います。

技術管理規程や監督要領等を遵守し、発注者の補助者として工事監理を行い、必要に応じ、変更設計・積算・工事検査についても、支援します。

②建設工事支援検査業務

工事のより適切な施工の確保、工事施工状況のより公平公正な評価を行うため、市町の検査業務を支援する業務を行います。道路、河川等の土木工事について、当センターの「支援検査員」が検査員（市町）、監督員並びに請負業者等の立会のもと、設計図書等に基づき、工事実施状況の検査及び現場での出来形・品質の検査を行うとともに、工事成績の参考評定を行います。

河 川

工 事 名：志筑川水系志筑川 放水路整備工事
 委 託 者：洲本土木事務所
 受託内容：積算・工事監理



砂 防

工 事 名：畑山川砂防堰堤工事
 委 託 者：西宮土木事務所
 受託内容：積算・工事監理



ダ ム

工 事 名：千種川水系鞍居川 金出地ダム堤体建設工事
 委 託 者：光都土木事務所
 受託内容：積算・工事監理



設 備

工 事 名：三原川水系入貫川 排水機場工事
 委 託 者：洲本土木事務所
 受託内容：積算・工事監理



橋梁維持補修

工 事 名：播但連絡道路 市川大橋橋梁補修工事
 委 託 者：兵庫県道路公社
 受託内容：積算・工事監理



トンネル

工 事 名：市道龍野揖保川御津線 市場碓岩トンネル工事
 委 託 者：たつの市
 受託内容：積算・工事監理



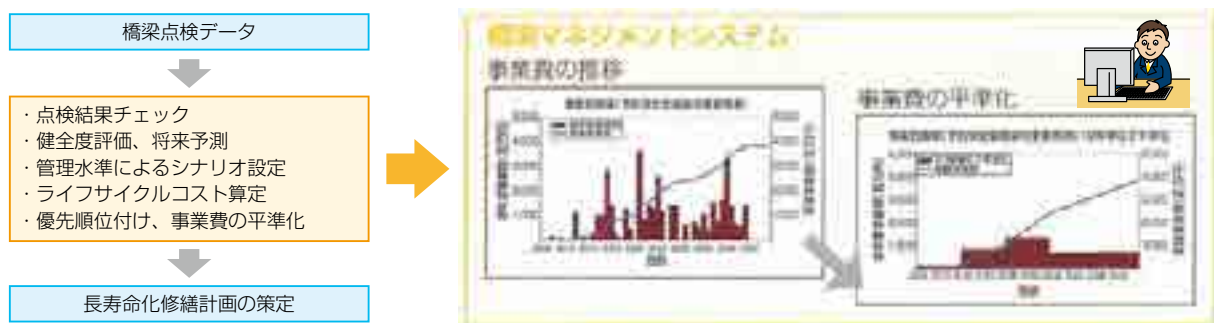
2 長寿命化修繕計画策定と老朽化対策工事（改築、更新）

県、市町から橋梁長寿命化修繕計画策定業務を受託し、道路橋長寿命化に向けた取り組みを支援します。

また、長寿命化修繕計画を踏まえ、橋梁補修等施設の老朽化対策工事に係る設計・積算・工事監理業務を受託し、発注者を支援します。

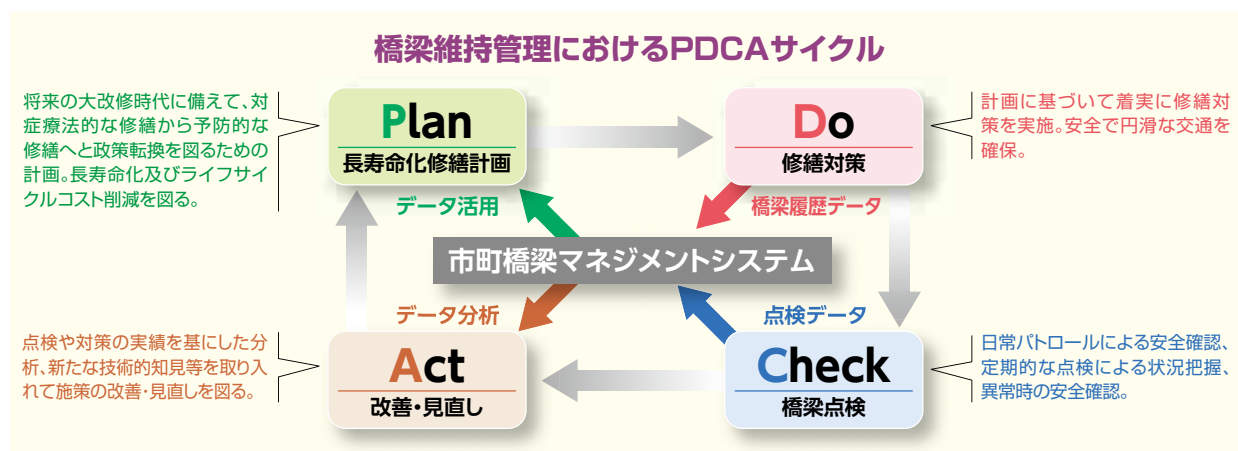
(1) 橋梁長寿命化修繕計画の策定

「橋梁マネジメントシステム」により、将来の健全度予測、事業費の平準化案の作成等を行います。



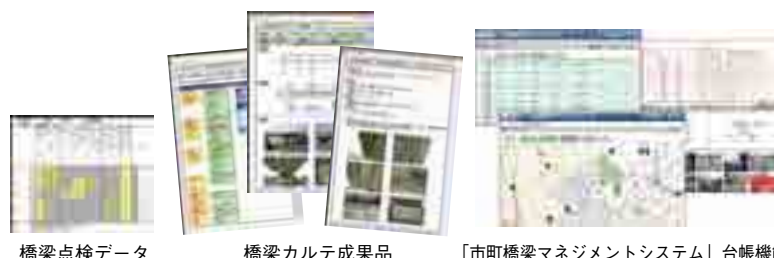
(2) マネジメントサイクルの提案

橋梁の維持管理は、継続的な橋梁点検、計画的な補修対策を行うとともに、適宜長寿命化修繕計画を見直すことにより、ライフサイクルコスト削減ができるマネジメントサイクルを構築することが重要です。



(3) 一貫した業務の支援

橋梁、トンネル等についてセンターが点検・評価～計画～修繕・更新まで一貫して業務を支援します。



① 橋梁カルテ作成支援

橋梁長寿命化修繕計画策定の結果、早期に詳細な調査、補修が必要とされた橋梁について、必要となる調査項目と補修方法を取りまとめたカルテを作成します。

② 設計・積算・工事監理支援

計画策定後、補修設計への助言や、その後の積算・工事監理を支援します。

③ データセンターとしての支援

当センターでは、市町が管理している橋梁の諸元情報、点検履歴、補修履歴等の登録機能を有した「市町橋梁マネジメントシステム」を構築し、市町へのデータ提供を行っています。

(4) ワンストップ相談窓口

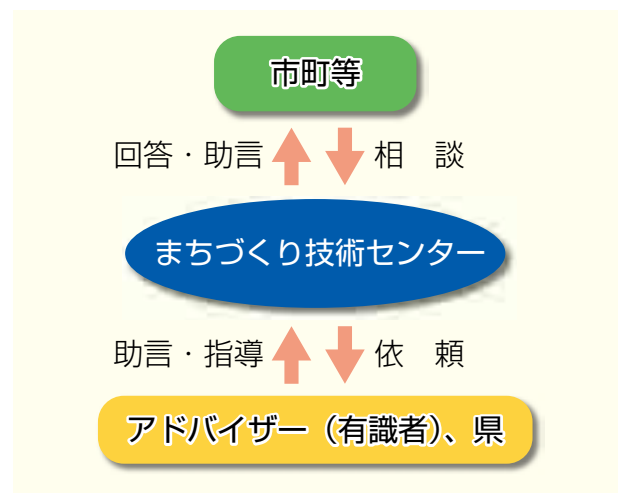
市町社会基盤施設の老朽化対策への支援体制を強化するため、県及びセンターが有する技術力・情報等を活用し、適切に回答・助言を行う「ワンストップ相談窓口」をセンター内に設置しています。

【兵庫県内の市町管理施設数】

道路延長：24,723km、橋梁：約20,000橋、トンネル：25箇所

相談窓口受付ダイヤルイン

078-367-1228



3 防災減災対策 災害復旧工事

頻発する台風災害等に伴う災害復旧事業の設計・積算・工事監理業務を受託し、防災対策、災害復旧工事を積極的に支援します。

また、東日本大震災に係る復旧・復興事業を一層支援するため、公益社団法人宮城県建設センターへの職員派遣による支援に加え、当センターからの遠隔積算システムによる支援にも積極的に取り組んでいます。



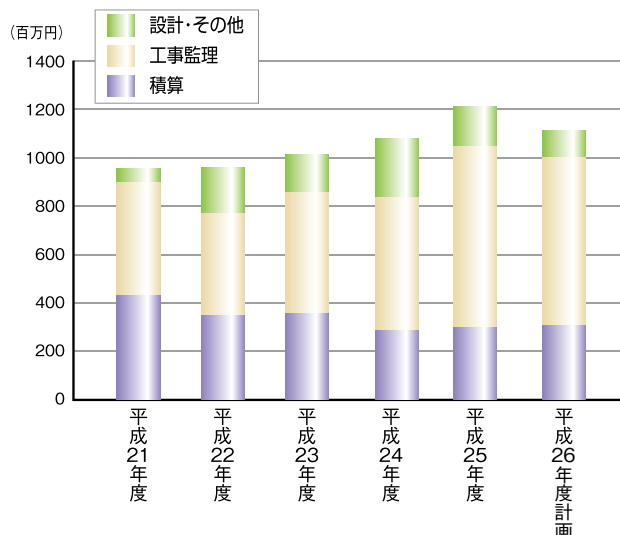
遠隔積算システムによる支援



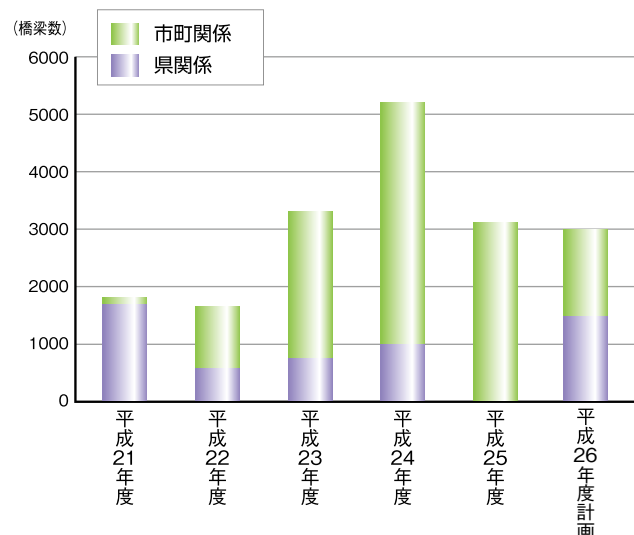
千種川災害復旧事業 積算・工事監理支援

■受託実績

◇建設事業



◇長寿命化修繕計画策定橋梁実績





下水道施設の維持管理・建設支援

1 流域下水道施設等の維持管理

(1) 流域下水道事業に係る維持管理

兵庫県が流域別下水道整備総合計画(大阪湾、播磨灘)の中で流域下水道事業を位置付け、整備を進めてきた「猪名川」、「武庫川」、「加古川」及び「揖保川」の4流域6処理区における維持管理業務を兵庫県から受託しています。(処理人口:約197万人、現有処理能力:約101万m³/日)

①猪名川流域下水道

原田処理区は、右岸第一幹線を始め、幹線管渠等の維持管理を行い、汚水処理は原田処理場でを行っています。

②武庫川流域下水道

ア 上流処理区は、武庫川上流浄化センター及び三田、神戸幹線管渠等の維持管理を行い、神戸市・西宮市・三田市の汚水処理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

イ 下流処理区は武庫川下流浄化センター、南武中継ポンプ場等及び武庫川幹線管渠等の維持管理を行い、尼崎市・西宮市・伊丹市・宝塚市の汚水処理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

③加古川流域下水道

ア 上流処理区は、加古川上流浄化センター、王子中継ポンプ場等及び神戸幹線管渠等の維持管理を行い、神戸市・西脇市・加西市・三木市・小野市・加東市の汚水処理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

イ 下流処理区は、加古川下流浄化センター及び稲美幹線管渠等の維持管理を行い、加古川市・高砂市・稲美町・播磨町の汚水処理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

④揖保川流域下水道

揖保川処理区は、揖保川浄化センター、正條中継ポンプ場等及び揖保川幹線管渠等の維持管理を行い、姫路市・たつの市・宍粟市・太子町の汚水処理とともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。



(2) 流域下水汚泥処理事業に係る維持管理

阪神・播磨地区における下水汚泥の処理・処分について、兵庫東流域下水汚泥広域処理場及び兵庫西流域下水汚泥広域処理場の維持管理業務を兵庫県から受託しています。

(現有処理能力(脱水汚泥):約1,090t/日)

①兵庫東流域下水汚泥処理

兵庫東スラッジセンター(兵庫東流域下水汚泥広域処理場)、送泥ポンプ場、送泥管等の維持管理を行い、尼崎市、西宮市、芦屋市の各公共下水道及び武庫川上流・下流流域下水道からの汚泥受け入れとともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

②兵庫西流域下水汚泥処理

兵庫西スラッジセンター(兵庫西流域下水汚泥広域処理場)、送泥ポンプ場、送泥管等の維持管理を行い、姫路市、たつの市、太子町の各公共下水道及び揖保川流域下水道からの汚泥受け入れとともに、施設等の保守、点検、修繕等に努めています。

県内の流域下水処理場及び下水汚泥広域処理場



加古川上流浄化センター



武庫川上流浄化センター



加古川下流浄化センター



武庫川下流浄化センター



揖保川浄化センター



兵庫西スラッジセンター



兵庫東スラッジセンター

(3) 包括的民間委託の導入

流域下水道及び流域下水汚泥処理の運転管理業務について、コスト縮減を図るために民間事業者の創意工夫を活かした包括的民間委託を導入しています。

2 公共下水道の建設・改築支援、下水道知識の普及啓発

(1) 公共下水道事業の建設・改築支援

①建設支援

下水道整備を行う上で、技術力を必要とする市町から公共下水道施設の設計、積算、工事監理を受託し、建設支援を行っています。



工 事 名：管渠布設工事（中田工区第 70 工区）
委 託 者：淡路市
受託内容：積算・工事監理



工 事 名：管渠布設工事（中田工区第 70 工区）
委 託 者：淡路市
受託内容：積算・工事監理

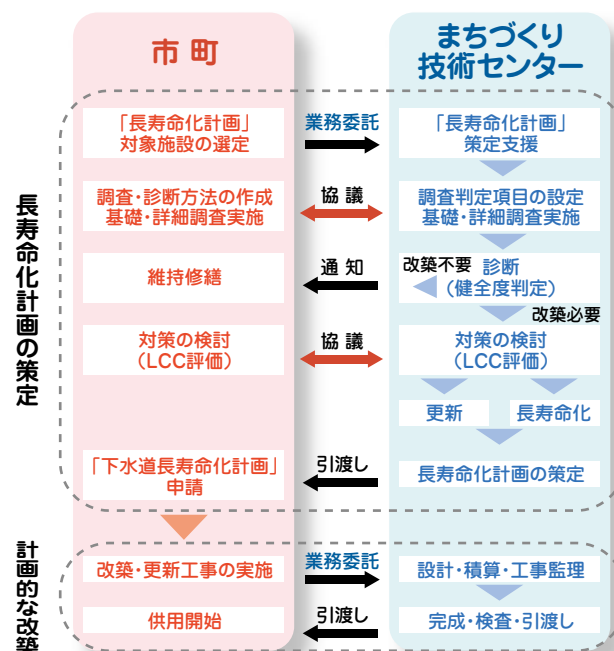
②改築支援

社会生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の事故等を未然に防止するため、限られた財源の中、ライフサイクルコストの最小化の観点を踏まえた「長寿命化計画の策定」と「計画的な改築」を支援します。

平成25年度以降は、下水道施設の改築・更新に国費を導入するためには、予防保全的な管理を行うとともに、「下水道長寿命化計画」に基づくものに限定されることとなります。

当センターでは、長寿命化計画の策定から改築・更新工事の設計・積算・工事監理まで一貫して支援します。

「長寿命化計画の策定」と「計画的な改築」の支援フロー



(2) 計画的・効率的維持管理への支援

①下水道と関連事業の連携強化に関する支援

下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の污水处理施設のより一層の効率的、適正な整備を進めるため、市町の関連部局の連携による「処理場統合廃合計画」の策定や、下水道と他の污水处理施設の共同処理施設等を整備する「污水处理施設共同整備事業」を受託するなどの支援を行っています。

②水質分析支援

各市等の水質汚泥検査業務を受託し、一括発注による共同水質検査を行うことにより、経費節減、維持管理業務の広域化、共同化等の支援を行っています。



水質検査状況

(3) 下水道知識の普及啓発

日常生活を支える重要な施設である下水道への理解を深めていただくことを目的として、浄化センター見学会を開催し、下水道施設のPR、下水道の役割、効果等について説明しています。

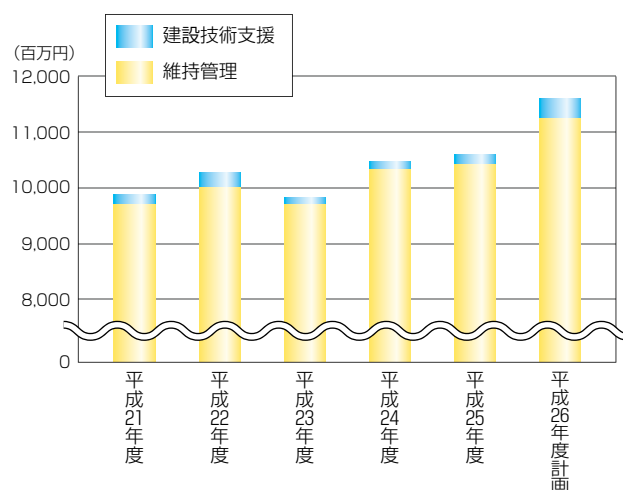
またリーフレット等を作成し、地域住民、行政機関等へ配布するとともに、啓発ビデオの上映を行っています。

平成26年度は、4月及び夏休み期間中に、浄化センターの施設見学会を開催するとともに、社会科授業の一環として小学生の見学会や、中学生の「トライやる・ウィーク」、地域住民を対象とした施設見学会を実施いたします。



見学会と広報活動

■ 受託実績



下水処理場の自家消費用太陽光発電設備

3 排水設備技術者資格試験

県内各市町との協定に基づき、下水道排水設備工事責任技術者の技術水準の維持・向上と市町事務の省力化を図るため、県内統一の責任技術者試験、受験講習及び更新講習を実施します。

平成 26 年度の試験・講習の実施予定	
更新講習	平成 26 年 7 月 8・15・17・29・31 日、8 月 7・26 日 県内各地域（神戸市、姫路市、丹波市、豊岡市、淡路市）
受験講習	平成 26 年 10 月予定
試験	平成 26 年 11 月予定

■ 下水道排水設備工事責任技術者講習の受講者数と合格者数の推移

年度	名称	責任技術者更新講習受講者数	責任技術者受験講習受講者数	責任技術者試験合格者数
平成21年度実績		5,336 人	182 人	214 人
平成22年度実績		706 人	119 人	67 人
平成23年度実績		618 人	131 人	100 人
平成24年度実績		369 人	109 人	88 人
平成25年度実績		373 人	104 人	77 人
平成26年度計画		5,550 人*	約 120 人	—

※平成26年度の更新講習受講者数は対象者数。

1 都市計画及び土地区画整理事業の調査、計画

(1) 市町まちづくり推進調査支援

市町のまちづくり行政を広く支援するため、センターの自主事業である「市町まちづくり推進調査支援制度」により、市町と役割分担を行い様々なまちづくりの事業化に向けた取り組みを支援します。

(2) 都市計画への支援

都市の健全な発展と秩序ある整備を目的とする市町都市計画マスタープランや地区計画及び市街化調整区域の土地利用計画など、各種都市計画に関する図書の作成を受託します。

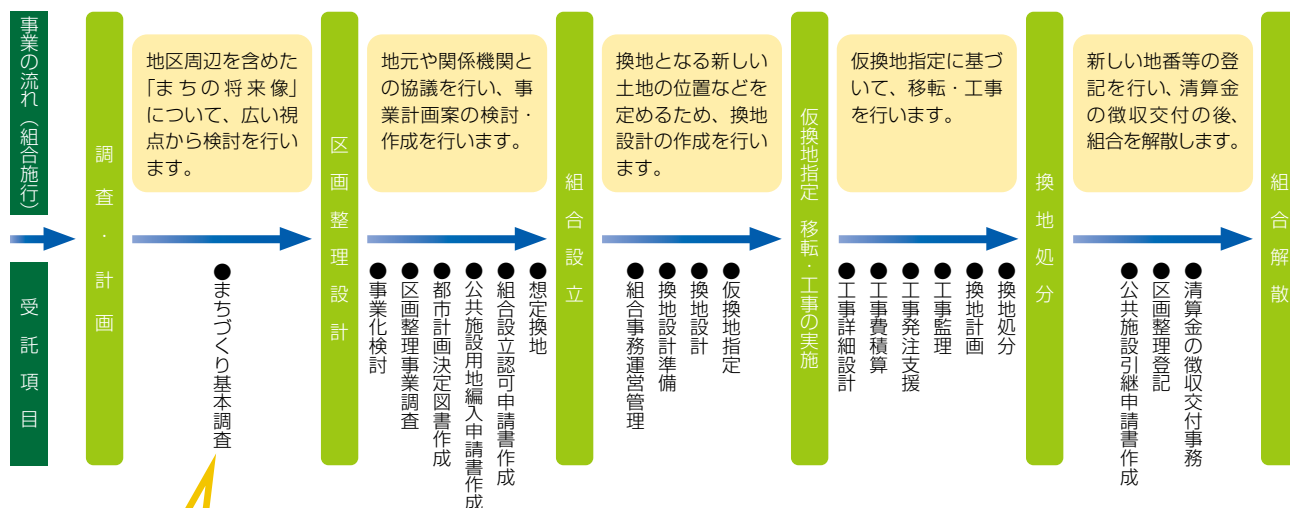
また、社会資本整備総合交付金の活用を図るため、都市再生整備計画の作成を通して個性あるまちづくりを支援します。

(3) 土地区画整理事業への支援

市町及び土地区画整理組合等が行う土地区画整理事業を総合的にサポートするため、事業化に向けた調査・計画及び事業認可図書作成、土地の権利変換を行う換地設計、換地計画及び換地処分、事業運営支援として工事関連図書作成及び運営事務補助等を行います。

また、円滑な土地区画整理事業の推進のため、市町及び土地区画整理組合等の行う説明会・勉強会に出席し、住民意向の反映や合意形成を促進するとともに、県・市町の関係部局との協議調整を支援します。

総合的に土地区画整理事業を支援

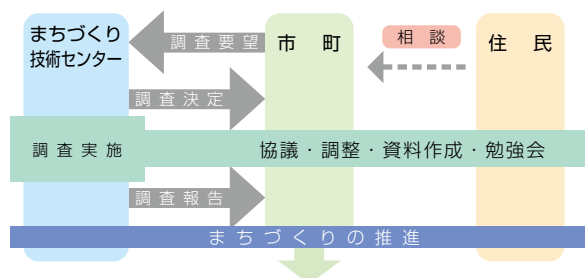


○市町まちづくり推進調査支援制度

まちづくり技術センターでは、土地区画整理事業等市街地整備事業の円滑な事業化の推進や、都市計画制度(規制・誘導)による良好なまちづくりの実現を支援することを目的に、「市町まちづくり推進調査支援制度」を設けています。

まちづくり基本構想や事業化検討の調査を市町からの要請を受け、市町と役割を分担し、調査を実施します。

※支援にあたっては、センター内で審査を行います。
制度活用にあたっては、市町の費用負担は生じません。
別途パンフレットを用意していますので、ご参照ください。



住民との合意形成



事業化検討説明会



換地設計役員会

整備された街並み

中播都市計画事業 飾磨拠点土地区画整理事業（姫路市）

■ 施工前

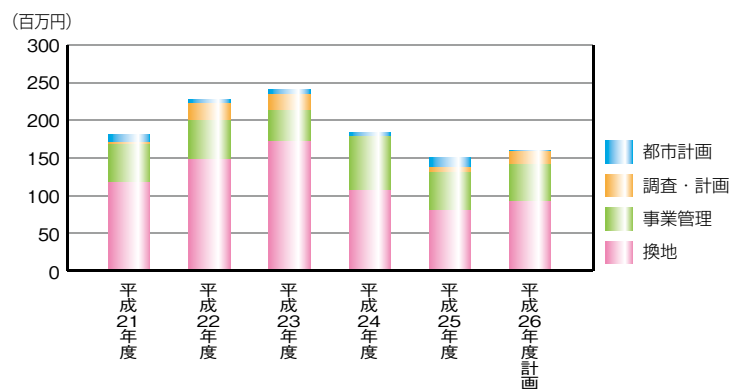


■ 施工後



■ 受託実績

◇ 土地区画整理事業等



整備後の状況

設計・積算・工事管理

下水道施設の
維持管理・建設支援

土地区画整理・
景観づくり支援

埋蔵文化財調査

技術の拠点・
技術者育成

2 震災被災地への専門家派遣、活動助成

(1) 復興まちづくり支援事業

阪神・淡路大震災被災地で復興まちづくりに取り組む住民活動の支援を行います。

① まちづくりアドバイザー派遣

復興まちづくりに取り組もうとする地区の住民団体が行う勉強会等にまちづくりの専門家を派遣

② まちづくりコンサルタント派遣

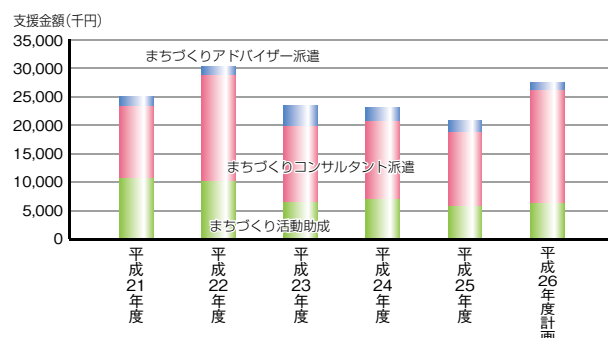
復興まちづくり計画(まちづくり構想、地区計画住民案等)を立案しようとする地区にまちづくりコンサルタントを派遣

③ まちづくり活動助成

復興まちづくりに取り組むまちづくり協議会等の活動に係る経費を助成



地区住民による地区計画提案(山手幹線沿道芦屋市区間)



(2) 東日本大震災に係るひょうごまちづくり専門家派遣事業

東日本大震災の被災地において住民による復興まちづくりの取り組みを支援するため、阪神・淡路大震災でまちづくり協議会等が取り組むまちづくりを支援した経験を持つコンサルタント等をまちづくり専門家として派遣します。

① ひょうごまちづくり専門家バンク設置・登録事業

阪神・淡路大震災において、被災住民主体の復興まちづくりの取り組みをまちづくりの専門家として支援した経験を持つ者を登録し、以下の事業で派遣します。

また被災地からの派遣希望等に活用できるよう、インターネットで登録内容を公開しています。

●現在(H26.3)53名の専門家を登録しています。



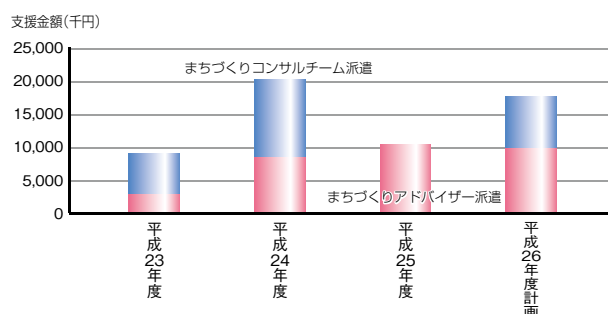
アドバイザー派遣状況

② ひょうごまちづくりコンサルチーム派遣事業

ひょうごまちづくり専門家バンクの専門家らによりチームを構成し、被災地住民等の集会へ出向き阪神・淡路大震災での復興まちづくりのノウハウや教訓を伝え、住民主体のまちづくりの気運の醸成を図ります。

③ ひょうごまちづくりアドバイザー派遣事業

まちづくり協議会等を立上げ、住民主体により復興まちづくりに取り組もうとする被災地の住民団体等にひょうごまちづくり専門家バンクから専門家を派遣し、阪神・淡路大震災での経験・教訓を活かしてまちづくりの取り組みのアドバイスを行います。



③ 修景助成、修景支援、景観形成等活動助成

(1) 景観形成支援事業

① 修景助成事業

景観形成地区等の建築物等の景観形成に資する外観の整備に要する費用の一部を助成

- 歴史的景観形成建築物等修景助成
- 一般建築物等修景助成
- 重要建築物等修景助成 ほか



修景助成による外観整備の事例

② 修景支援事業

景観形成地区等での修景相談、地区住民団体による景観形成推進活動等の指導や地区または通りや街区などの景観整備計画の立案等に専門家を派遣

- 景観まちづくりアドバイザー派遣
(修景相談、景観まちづくり活動指導)
- 景観まちづくりコンサルタント派遣
(景観まちづくり計画等の策定支援)



修景支援事業
(景観まちづくりアドバイザー派遣)

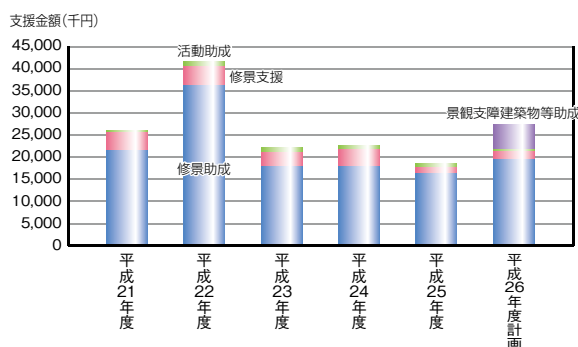
③ 景観形成等活動助成事業

地区住民団体や景観形成等推進員による景観形成等推進活動にかかる経費の一部を助成

- 景観まちづくり活動助成
- 景観形成等推進員活動助成

④ 景観支障建築物等助成事業

景観形成地区等で管理不全な状態のため周辺の良好な景観を阻害している物件の除去または改修費の一部を助成



景観まちづくり交流会

(2) 普及啓発・人材育成

① 普及啓発等による推進支援

- 景観まちづくりに取り組む住民団体や行政・専門家等との情報交換「ひょうご景観まちづくり交流会」の開催
- まちづくり専門家と市町担当者向けの研修会「景観まちづくり現地視察セミナー」「景観まちづくり専門家派遣報告会」の開催

② まちづくり専門家バンクの運営

- まちづくりコンサルタントの登録
- 景観アドバイザーの登録



景観まちづくり現地視察セミナー

埋蔵文化財調査

1 開発に伴う発掘調査

開発事業により現状保存ができない遺跡について、県教育委員会より発掘調査を受託し、文化財の保存と活用を図り、開発との調和に取り組んでいます。

埋蔵文化財調査の流れ

兵庫県教育委員会（考古博物館）が実施

埋蔵文化財調査部（まちづくり技術センター）が受託・実施

連絡調整

分布調査

確認調査

本発掘調査

<確認調査>

埋蔵文化財の範囲・性格・内容等を把握するための部分的な発掘調査

<本発掘調査>

埋蔵文化財が損壊あるいは影響を受ける範囲について記録保存を行うための発掘調査

本発掘調査は、やり直しのきかない作業であり、細心の注意を払って行い、人力と機械を使い分けて効率よく実施します。

①機械掘削

土質の変化に注意しながら土器等の遺物が含まれる土層まで大型機械で掘削します。



機械掘削
(豆腐町遺跡／姫路市)

②人力掘削

機械掘削の後、遺物が多く含まれる土層を人力により掘り下げ、土器等の遺物を取り上げます。



人力掘削
(南構遺跡／豊岡市)

③発掘調査の記録

発掘調査の成果を記録として残すため、遺構や遺物の状況を写真に撮影したり、測量や実測等を行って記録を残します。調査範囲全体の平面図の作成にはヘリ

コプター等で撮影した空中写真をを使った測量も採り入れています。



遺構の調査
(尼ヶ宮古墳群／豊岡市)



多田銀銅山の調査 2号坑道（中央）と選鉱施設（左右）
(猪瀬谷坑道群間歩谷支群／猪名川町)



写真撮影
(西垣古墳群／豊岡市)

2 出土品整理

発掘作業で出土した出土品（遺物）には、土器・石器・金属器・木器など多種多様なものがあります。これらは、長い年月、土中に埋まっていたために劣化し、形状を維持できない状態になっています。

そのため出土品は復元し、保存処理を施したのち、発掘調査成果をとりまとめた「発掘調査報告書」を作成します。

出土品整理・保存処理・報告書作成

①接合・復元

壊れた状態で出土した土器等の破片をつなぎ合わせ（接合）、本来の形に戻します。（復元）



接合・復元

②実測・トレース

出土品の形や特徴を観察して正確な図面を作成し（実測）、印刷用に清書します。（トレース）



遺物実測

③保存処理

金属器や木器には、錆落としや樹脂含浸等の理化学処理を行います。



保存処理

④発掘調査報告書の作成

図面や写真等を編集して、発掘調査の記録や成果を報告書にまとめます。



遺物写真撮影



編集作業



発掘調査報告書

3 埋蔵文化財の公開と活用

埋蔵文化財調査の成果は、多くの機会を設けて、広く県民に公開しています。

- ①発掘作業の現場では、現地説明会を開催し、発掘現場を体感する機会を提供しています。
- ②埋蔵文化財情報誌「ひょうごの遺跡」を発行し、最新の発掘調査成果を発信しています。
- ③年度末に発掘調査速報会を開催して、最新の発掘調査成果を発表しています。

また、兵庫県立考古博物館と連携して各種イベント、展示講演会等を開催し、発掘調査作業や出土品整理作業の一端を紹介したり、講演会等の講師を務めたりして、埋蔵文化財調査への理解が深まるよう取り組んでいます。



発掘調査報告会



埋蔵文化財情報誌「ひょうごの遺跡」



現地説明会（対田清水谷古墳群）



イベント「考古博であそぼう」

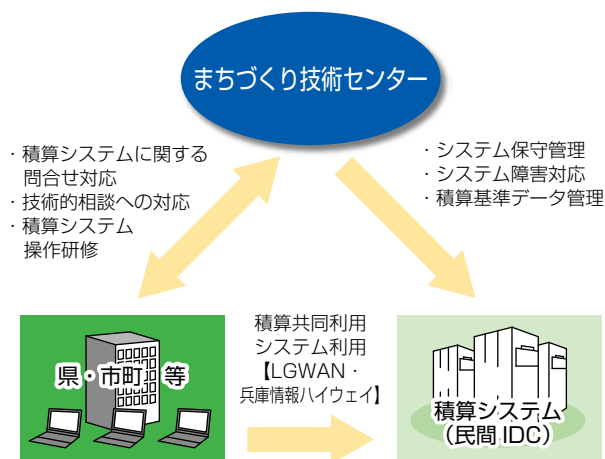
1 技術情報の管理、提供

(1) 積算共同利用システム、社会基盤施設総合管理システムの運営等

① 積算共同利用システム

積算業務の効率化・コスト縮減等を図るため、県・市町等が共同で利用する「兵庫県積算共同利用システム」の運営・維持管理を行うとともに、必要となる積算基準データの作成・提供を行っています。

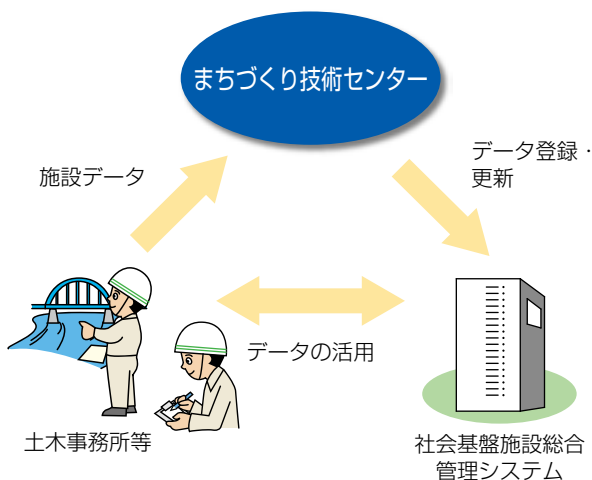
また、県・市町等職員を対象とした積算共同利用システムの操作研修や、市町からの積算に関する技術的相談への対応等、県・市町等の積算技術向上を支援する取り組みを行っています。



② 社会基盤施設総合管理システム

社会基盤施設の計画的、効率的な維持管理や施設の老朽化対策を支援するため、兵庫県が運営している「社会基盤施設総合管理システム」に施設台帳や点検結果、位置情報を登録するとともに、登録データの更新を行っています。

また、システム操作に関する問合せへの対応等、システム利用者の支援も行っています。



③ 新技術・新工法活用システム等

兵庫県が施行している『新技術・新工法活用システム』における受付、登録、データベース運営を行い、ホームページや技術発表会等を通じて建設技術情報の発信を行っています。

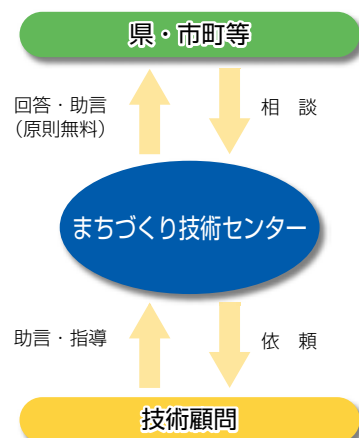
県、市町が活用する建設技術に関するデータベースサイトである兵庫県県土整備部ポータルサイト「匠」の適切な維持管理を行い行政の効率的な執行を支援します。

(2) 調査研究等の推進

県の施策に関連する調査研究、新たな技術基準、マニュアル作成等のほか、委員会、協議会等の運営を含めた調査研究業務を支援します。

(3) 技術顧問制度等による技術支援

県、市町等からの建設技術やまちづくりに関する相談に対し、センターが有する技術力や情報を活かしながら、適切な回答や助言を行うほか、8名の学識者からなるセンター技術顧問に専門的な指導や助言を受けます。



(4) 技術情報誌の発行

社会基盤整備事業の紹介や建設、まちづくり、下水道等に関する技術情報を提供するセンター機関誌「CON-TECHひょうご」を年2回発行し、県・市町の職員に配布しています。

とりわけ、整備手法や整備後の利活用等に特色のある事業を紹介していくことに重点をおき、県・市町が行う新規事業の参考となることを目標としています。

(5) 技術図書の発行

建設技術及び公共工事の契約に関する図書を発行・販売しています。

また、これら発行図書の改訂情報は当センターのホームページに随時掲載しています。

(6) 情報セキュリティ対策

当センターでは、保有する情報資産を様々な脅威から保護し、高い信頼性を確保するため、「情報セキュリティ対策指針」や、その「運用規則」を定め、情報セキュリティ対策に取り組んでいます。



● 販売図書

土木請負工事必携	(平成 19 年 10 月)
土木工事共通仕様書	(平成 19 年 10 月)
土木工事施工管理基準	(平成 19 年 10 月)
小型構造物標準図集	(平成 25 年 12 月)
土木設計業務等委託必携	(平成 22 年 9 月)
兵庫の地質	(平成 9 年 3 月)

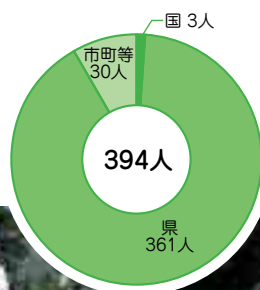


2 防災エキスパート活動支援

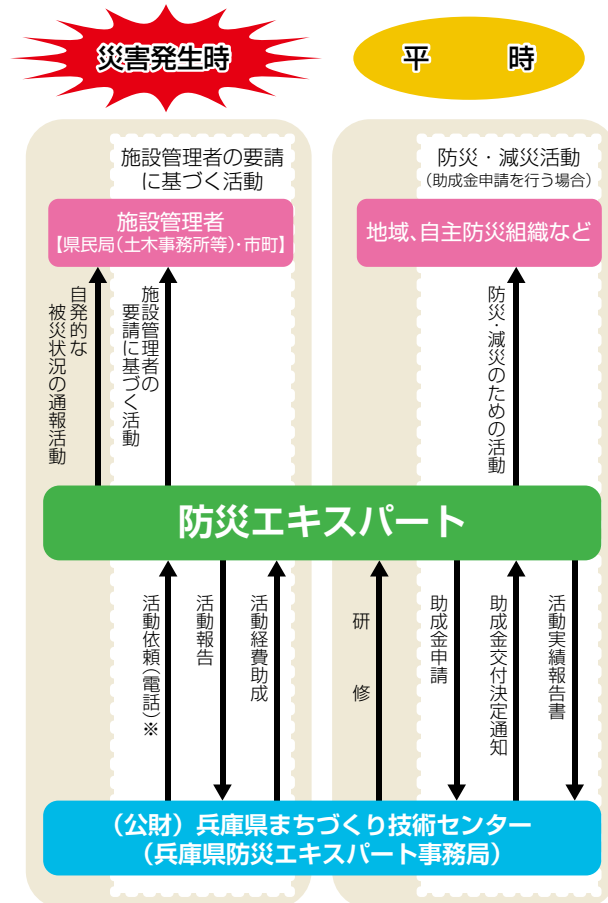
災害時には、道路や河川など公共土木施設の被害状況等を迅速、的確に把握することが重要です。このため、大災害に備え、公共土木施設の整備や維持管理に長年携わってこられた県や市町職員のOBが、そのノウハウを活かしボランティアとして活動する「兵庫県防災エキスパート登録制度」を、当センターが事務局となって運営しています。

災害発生時、公共土木施設の管理者から事務局に活動要請をしていただければ、エキスパートへの活動依頼をはじめ派遣日時の調整などを行い、復旧活動を積極的に支援します。

● 防災エキスパートの登録状況 (平成 26 年 3 月末現在)



平成21年台風9号での防災エキスパート活動状況



※施設管理者の要請に基づき活動を依頼します。

派遣要請の手続き

3 技術公務員の階層別、専門分野別研修

(1) 階層別研修

県・市町職員の資質の向上を図るため、それぞれの階層に見合ったテーマで研修を実施します。

① 県(県土整備部)技術職員(土木職)研修

採用職員研修	平成26年度採用職員 新任技術職員としての基礎知識を修得
採用職員研修 (職種転換者対象)	平成26年度採用職員(職種転換者) 行政職技術職員としての基礎知識の修得
フォローアップ研修	平成26年度採用職員 災害復旧に係る測量～設計～積算の実務演習
中級技術職員研修	採用後概ね6年以上(あるいは28才以上)を経過した職員 福祉のまちづくりにおける専門知識の修得
主任技術職員研修	平成26年度主任昇格者 課題解決能力を養う事例研究
5級技術職員研修	5級職員 施策課題に関するグループ討議
係長・課長研修	平成26年度係長・課長昇格者 監督職としての見識と管理能力の向上
再任用職員研修Ⅰ	平成26年度再任用職員 積算システム演習中心のIT実務能力の向上
再任用職員研修Ⅱ	平成26年度再任用職員 工事検査、占用及び許認可に関する実務能力の向上



フォローアップ研修(土木職)



建設基礎研修

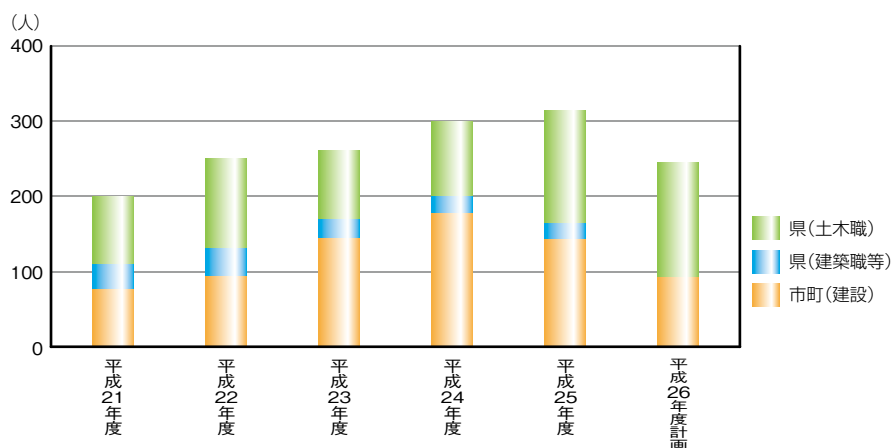
② 市町建設事業担当職員研修

建設基礎研修	実務経験が3年以内の職員 積算、工事監督など、職務上の基礎知識の修得
災害復旧実務研修	災害復旧の実務経験が概ね5年以内の職員 査定設計表の作成～模擬査定などの実務演習
現場監督実務研修	実務経験の浅い職員 工事監督の留意点等の現場実習による基礎知識の修得
体験型現場研修	実務経験が10年程度の職員 現場監督員との意見交換による体験型現場研修



現場監督実務研修

■ 階層別研修



(2) 専門分野別研修

分野ごとの専門知識を修得できる技術講習会を、県・市町の職員を対象に実施します。

① 建設技術研修

(講習会)

災害復旧	土木施設の災害発生時の応急対応及び災害復旧事業等の採択に向けた調査・設計等、災害査定に必要な基本知識
河川	河川行政に求められる実務能力の向上
鋼橋	鋼橋の施工及び維持修繕の基礎知識
コンクリート構造物の施工と維持管理	コンクリート構造物の長寿命化を図るための施工と維持管理の基礎知識
地盤調査(構造物設計)	構造物設計に必要な地盤調査計画、調査結果の評価とそのポイント
下水道	下水道長寿命化計画策定や適正な維持管理についての基礎知識

(演習コース)

As舗装修繕・設計	As舗装の設計と維持修繕
道路計画	道路計画の手順と線形計画・縦横断計画
支持力計算	土質定数の考え方と支持力計算
交差点計画	平面交差の計画と設計
構造物設計	擁壁の安定計算と断面計算の手順
地盤調査・試験	地質調査、土質試験等の演習
仮設構造物設計	土留工の計画と施工、自立式土留工の設計演習

② まちづくり担当職員研修

土地区画整理研修	土地区画整理事業の基礎知識の修得
まちづくり研修	まちづくりに関する知識の修得

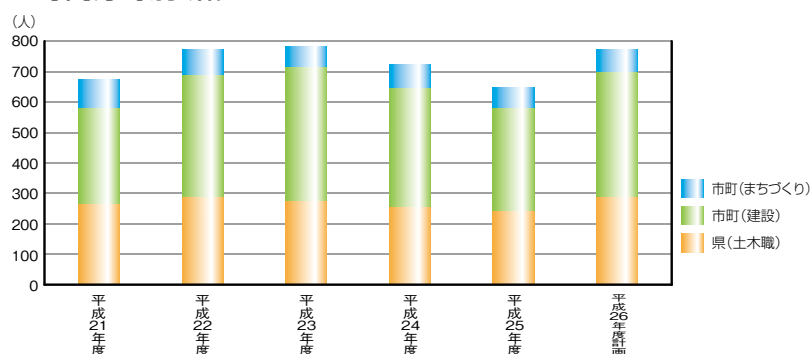
(3) 橋梁簡易点検講習会

橋梁に関する損傷の早期発見、補修の必要性等計画的な維持管理に必要な点検技術を修得するため、県・市町職員を対象とした橋梁簡易点検講習会を実施します。

(4) 現場研修

県内の先進的な建設現場を視察し、各現場での取り組みを学ぶ場として、県・市町の実務担当職員を対象に現場研修会を実施します。

専門分野別研修



As舗装修繕・設計演習



道路計画演習



地盤調査・試験演習



橋梁簡易点検講習会



現場研修(徳久トンネル)

総務部 企画部 建設技術部 下水道事業部 都市整備部

〒650-0023
神戸市中央区栄町通 6-1-21 (神明ビル 5・6 F)
TEL 078-367-1230 (代) FAX 078-367-1232
E-mail info@hyogo-ctc.or.jp
URL http://www.hyogo-ctc.or.jp

埋蔵文化財調査部

〒675-0142
加古郡播磨町大中 1-1-1 (兵庫県立考古博物館内)
TEL 079-437-5561 FAX 079-437-5591

阪神事務所

〒662-0911
西宮市池田町 9-7-216 (フレンテ西館 2 F)
TEL 0798-34-2275 FAX 0798-34-2285

播磨事務所

● 建設技術第 1 課

〒670-0965
姫路市東延末 5-83 (播磨漁友会館 3 F)
TEL 079-281-3377 FAX 079-281-3388

● 建設技術第 2 課 (佐用)

〒679-5523
佐用郡佐用町上月 787-2 (佐用町役場上月支所 2 F)
TEL 0790-86-8001 FAX 0790-86-8002

但馬事務所

〒668-0055
豊岡市昭和町 2-56 (サカモトビル 2 F)
TEL 0796-29-3031 FAX 0796-29-3073

丹波事務所

〒669-3309
丹波市柏原町柏原上中町東側 280-1
(NTT 丹波柏原別館 1 F)
TEL 0795-73-3750 FAX 0795-73-3660

淡路事務所

〒656-2132
淡路市志筑新島 5-1
(兵庫県企業庁 阪神・淡路臨海建設事務所淡路出張所内)
TEL 0799-60-1950 FAX 0799-60-1960

武庫川流域下水道管理事務所

● 武庫川下流浄化センター

〒660-0087
尼崎市平左衛門町 18-4
TEL 06-6419-4231 FAX 06-6419-3379

● 兵庫東スラッジセンター

〒660-0087
尼崎市平左衛門町 65-10
TEL 06-6411-8356 FAX 06-6414-2225

● 武庫川上流浄化センター

〒651-1503
神戸市北区道場町生野字飛瀬
TEL 078-985-6621 FAX 078-985-6623

加古川流域下水道管理事務所

● 加古川下流浄化センター

〒675-0025
加古川市尾上町養田 1687-2
TEL 079-424-1313 FAX 079-424-1314

● 加古川上流浄化センター

〒675-1345
小野市黍田町 398-2
TEL 0794-63-5554 FAX 0794-63-7540

揖保川流域下水道管理事務所

● 揖保川浄化センター

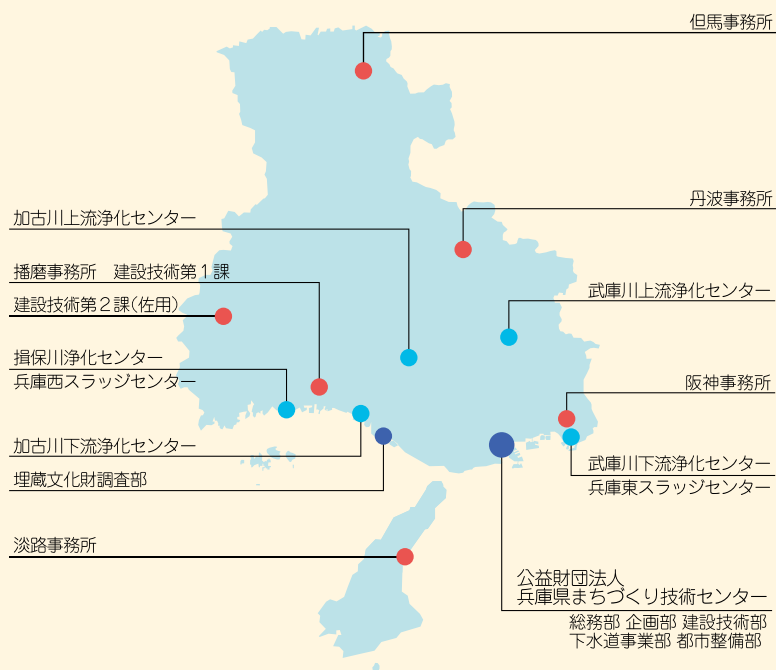
〒671-1241
姫路市網干区興浜字第一味岡 2093
TEL 079-274-2922 FAX 079-274-2925

● 兵庫西スラッジセンター

〒671-1236
姫路市網干区網干浜 240-2
TEL 079-272-1637 FAX 079-271-2114

ワンストップ相談窓口

078-367-1228



表紙写真

- | | |
|---|----------------------------|
| ① | ① 兵庫西スラッジセンター (流域下水汚泥処理施設) |
| ② | ② 水鳥形遺跡 (池田古墳 (朝来市) 出土) |
| ③ | ③ 宝塚市中筋 JR 北地区 (土地区画整理) |
| ④ | ④ 与布土ダム (朝来市) |